



2000年08月18日

今年度の“New Beetle Cup”シリーズ総合優勝は、山本将之選手に決定
Final result of VOLKSWAGEN “New Beetle Cup” race series 2000.

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社 (略称:VGJ、代表取締役:ピーター ノッカー) がサポートする、“ニュービートル カップ”のシリーズ最終戦(第4戦)が、9月16日(土)、17(日)の両日、台風一過の秋空が広がるセントラルパークMINEサーキット(所在地:山口県美祢市)にて開催されました。今回、西日本地区で初めて行われたニュービートル カップの決勝には、主催者発表で約3万2千人にも及ぶ観衆が早朝から駆けつけ、ニュービートル カップが持つエキサイティングなレース展開に、多くのファンがしばし釘付けとなりました。

16日(土)の予選では、年間のシリーズ ポイント争いを繰り広げる山本、藤島、坂本、壺林選手が共に僅差の1分56秒台で並び、結局ポール ポジションは1'56.507のベストタイムを叩き出した山本選手が死守する形となりました。明けて17日(日)、合計10ラップの最終戦は10時08分にスタート。小さなコーナーが連続するタイトなコースを集団となって走り抜けた各車は、周回を重ねる毎に第一、第二集団と別れ、最終的にはシリーズ全般を通して始終安定した走りを見せた山本選手が、第3戦もてぎでの大バトルを演じた好敵手、坂本選手に2.848秒差の1分56秒232でポールトゥ フィニッシュを決め、みごとニュービートル カップの初代シリーズ チャンピオンに輝きました。

このシリーズ優勝を受けて山本選手は、10月29日(日)ドイツ ホッケンハイムで行われるニュービートル カップの最終戦に、初の日本人ドライバーとして出場することになりました。このレースはADAC 1公認のDTM (ドイツ ツーリング カー レースの略称)との併催で、今年は、この最終戦を含めて全部で10戦開催されるドイツ国内最大規模のシリーズ選手権となっています。またこのレースで使用されるニュービートルは、V6 2.8リッター DOHC 4バルブ エンジンを搭載し、最新技術の四輪駆動方式「4 MOTION (フォー モーション)」を採用した、フォルクスワーゲン レーシングが手がけるレース専用車輦となっています。

1 ドイツの民間自動車連盟で、日本のJAFに相当する組織。日本同様にクルマに関する様々な活動を行っています。

New Beetle Cup 年間シリーズ ポイント ランキングと最終戦の結果

シリーズ順位	シリーズ獲得ポイント	選手名	車名	最終戦決勝 最速ラップタイム(順位)
1位	97	山本将之	D.Speed モデル ビートル	1'56.232 (1)
2位	85	壺林貴也	Breeze New Beetle	1'58.028 (6)
3位	75	坂本祐也	CRT New Beetle	1'56.731 (2)